

任意団体 BARCIK

バングラデシュネトロコナ県における 気候変動による洪水への地域住民の 適応能力とレジリエンス強化

ひろげる助成

1年目

実践

能力強化研修参加者 100人

農民が考案した
洪水への対応策 35個

今年度計画の達成度 100%

目標達成度 30%



洪水リスクのマッピング

活動内容と成果

農民が自ら洪水へのリスクに対応できるよう、100人の篤農家を対象とした研修を開き、洪水のメカニズムを踏まえた生態系保全の必要性、単一作物栽培により失われた古くから伝わる農法や品種の重要性を啓発した。

農民はこれらの研修を踏まえ、単一作物以前の農法を洗い出し洪水対策戦略としてまとめた。また、この戦略に沿った行動計画が作成され、2年次に実践へと移る。その他、洪水発生時の影響をリスクとして列挙し、リスクに対する35の対応策が実践方法の詳細とともに文書化された(洪水リスク対策ガイドライン)。

課題

- ①気候変動から頻発・長期化する洪水によりイネの収穫量が減少・全減すること
- ②土壌・河川の生態系が人間の活動によって崩れていること

目標

事業地において、小規模農家及び漁師が農業・漁業を持続的に行えるよう、洪水への対応策を自ら考え、実施する(農業のレジリエンス強化)。



洪水による土壌侵食を防ぐ
在来種の植樹

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

化学肥料を用いた単一作物栽培からの脱却は、一時的な収量の低下が見込まれるため、農民からの理解を得るのは容易ではなかった。

■工夫した点

モデル農場で在来種の稲・穀物等を栽培することで、農民が生育状況を観察し、育てたい品種を積極的に選定することができた。

| 活動地域 |  バングラデシュ

House#3/1, Flat-5A, Lalmatia,
Block-F, Dhaka, 1207, Bangladesh
電話: +880-2-9132372,
+880-1552-389857
E-mail: info@barcik.org.bd
http://www.barcik.org.bd



今後の
展望

古くから伝わる農法の実践や、事業で配布した在来種の穀物等の栽培をサポートしながら、農民とともに土地に合う農法を模索していく。また、行政が洪水時に起こるリスクに対応できるよう働きかけを行っていく。